

授業科目 社会学 II

【担当教員名】  鈴木 未来	対象学年	1	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎		

【一般目標：G10】  
 日本社会の諸特徴を、歴史のなかに位置づける。  
 個人がかかえる諸問題を、社会的現実として理解する。

【行動目標：SB0】  
 1. 戦後の日本社会の動きにおいて、人々に共通する特徴を説明する  
 2. 日本社会の諸問題の特徴を、社会学の諸理論を用いて表現する  
 3. 各自のもつ、社会福祉にかかわる関心事と日本社会の諸特徴との関連を調べる

回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	現代日本の問題性（1）	1	講義 ※参考書：第1章第5節相当
2	現代日本の問題性（2）	1	講義 ※参考書：第4章第1節相当
3	現代日本の問題性（3）	1	講義 ※参考書：第4章第2節相当
4	学校と人間形成（1）	2	講義 ※参考書：第2章第3節相当
5	学校と人間形成（2）	3	講義 ※参考書：第2章第3節相当
6	地域の変貌と住民（1）	2	講義 ※参考書：第2章第3節相当
7	地域の変貌と住民（2）	3	講義 ※参考書：第2章第3節相当
8	地域の変貌と住民（3）調査事例から	3	講義 ※参考書：第2章第1節・第2節相当
9	職場の変容と日本的経営・雇用慣行（1）	2	講義 ※参考書：第2章第1節相当
10	職場の変容と日本的経営・雇用慣行（2）	3	講義 ※参考書：第2章第1節相当
11	情報通信社会の現在（1）	2	講義 ※参考書：第1章第4節相当
12	情報通信社会の現在（2）	3	講義 ※参考書：第1章第4節相当
13	病理現象と社会的現実（1）	2	講義 ※参考書：第4章第1節相当
14	病理現象と社会的現実（2）	3	講義 ※参考書：第4章第1節相当
15	まとめ	1, 2, 3	講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	第3版応用社会学のすすめ	飯田哲也、浜岡政好、早川洋行 他	学文社	2003・2,835円・社会学IIでは「第2部 現実編」を扱う
	新・社会福祉士養成講座3 社会理論と社会システム—社会学 第2版	社会福祉士養成講座編集委員会編	中央法規	2010・2,200円+税
その他の資料	下層社会 あらたな階層集団の出現	三浦展	光文社新書	2005・819円
	若者が《社会的弱者》に転落する	宮本みち子	洋泉社新書Y	2002・756円
授業で配布するプリントに、必要な資料を掲載する。				

【評価方法】 出席点と定期試験	【履修上の留意点】
--------------------	-----------